

魚市場は、ミニ水族館だ!



図37 日南市漁協市場に水揚げされたサワラ

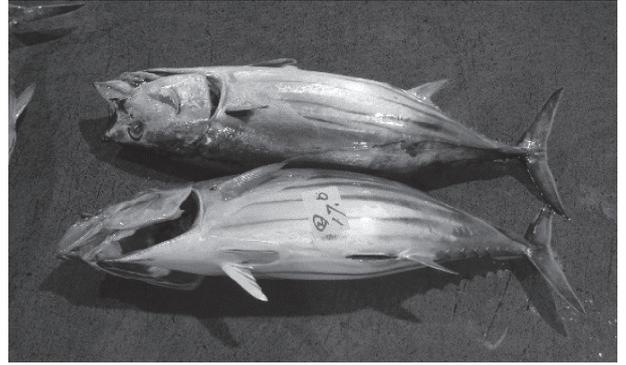


図33 日南市漁協市場に水揚げされたカツオ

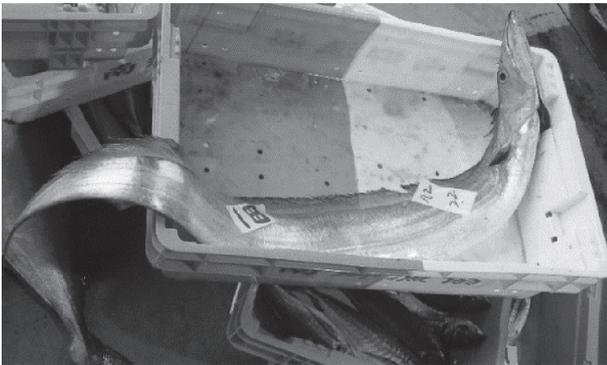


図38 日南市漁協市場に水揚げされた  
タチウオ



図34 日南市漁協市場に水揚げされた  
トビウオ

油津、戦前の繁栄を偲ぶ



図39 油津赤レンガ館

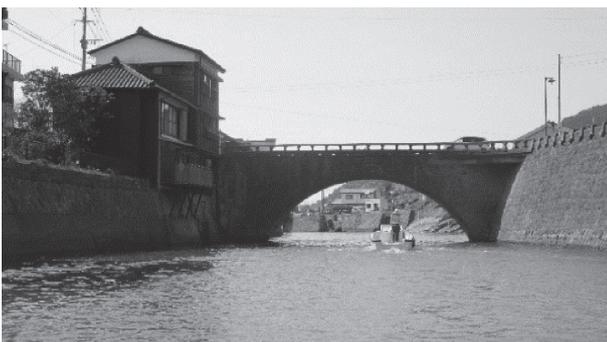


図40 飢肥スギを流し下した堀川

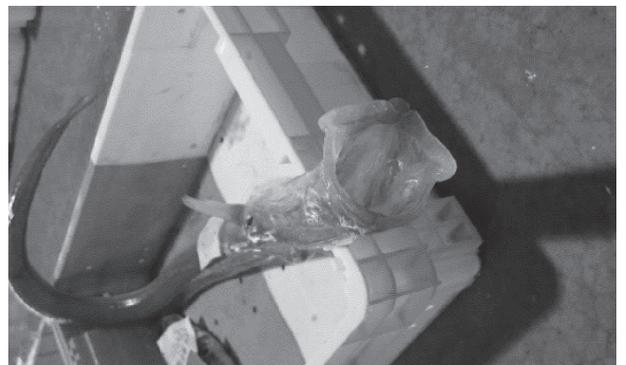


図35 日南市漁協市場に水揚げされたヤガラ



図36 日南市漁協市場に水揚げされた  
マンダイ

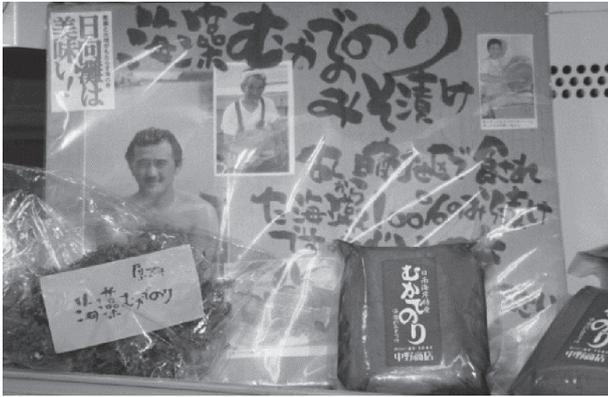


図46 むかでのり



図41 かつて奄美沖までカツオ漁に行った  
チヨロ船

日南 焼酎蔵訪問



図47 京屋酒造

日南 魚介料理の数々



図42 伝統のカツオ飯



図48 京屋酒造 蔵内の焼酎瓶



図43 ゴングリのから揚げ



図44 トビウオの塩蒸し



図49 古澤醸造 (大堂津)



図45 魚うどん



図54 日本一の生産を誇るスイートピー



図50 古澤醸造先代社長（故人）による酒蔵案内

## 日南の観光名所



図55 酒谷の棚田



図51 飢肥城門



図56 大堂津港カツオ船出港風景



図52 飢肥城内での泰平踊り

日南の酒と魚を巡る旅 お楽しみ  
いただけただしょうか。



図53 道の駅南郷のジャガランダ

#### 四二 地域，人財，を活用したツーリズムプラン 延岡市島野浦島

延岡市島野浦島は、釣りのメッカ、初夏にはツツジが咲き乱れるまさに、「魚舞い花咲く美島」である。島も、少子高齢化が著しいが、多くの古者が何らかの一芸を持っている。それらの一芸をうまく組み合わせるならば、地域資源としての景観、水産物などともにツーリズムの目玉となる。貴重な人材は、まさに、人財である。筆者らによる2012年の全戸聴き取り調査によって、以下の人財を見出すことができた。すなわち、

1. 島の昔を語る人財3人、話の補助ができる人財4人。
2. 昔の子どもの遊びを教える人財8人、補助ができる人財3人。
3. 民謡や演歌など歌の指導ができる人財2人。
4. 島の自然を案内できる人財1人。
5. 魚釣りの指導ができる人財13人、補助ができる人財4人。
6. 磯遊びの指導ができる人財6人、補助ができる人財4人。
7. 海での素潜りの指導ができる人財3人、補助ができる人財1人。
8. 島周囲の海巡りができる人財2人。
9. 山の遊びを指導できる人財4人、補助ができる人財2人。
10. まき網漁の話ができる人財7人、補助ができる人財8人。
11. まき網以外の漁業の話ができる人財1人。
12. 水産養殖業の話ができる人財2人、補助ができる人財2人。
13. 水産加工業の話ができる人財1人、補助ができる人財1人。
14. 漁業協同組合の話ができる人財2人。
15. その他の仕事の話ができる人財1人、補助ができる人財1人。
16. 伝統的魚介料理を教える人財5人、補助ができる人財が5人。
17. その他の料理を教える人財2人、補助ができる人財が1人。
18. お祭り・年中行事を語る人財6人。
19. 芸術作品を見せることができる人財1人。

20. その他の芸を見せることができる人財3人。

以上、ツーリズムに何らかの形で貢献する技術と意欲を持つておられる方が70人、補助できる方が36人存在することがわかった。また、漁家民泊受け入れ可能と答えた家が34軒、最大受け入れ可能人員106人ということ、人と施設、地域の自然・人文的構成要素を組み合わせると、興味深い旅が可能となるであろう。



図57 島野浦地形図



図58 鏡山から望む島野浦島

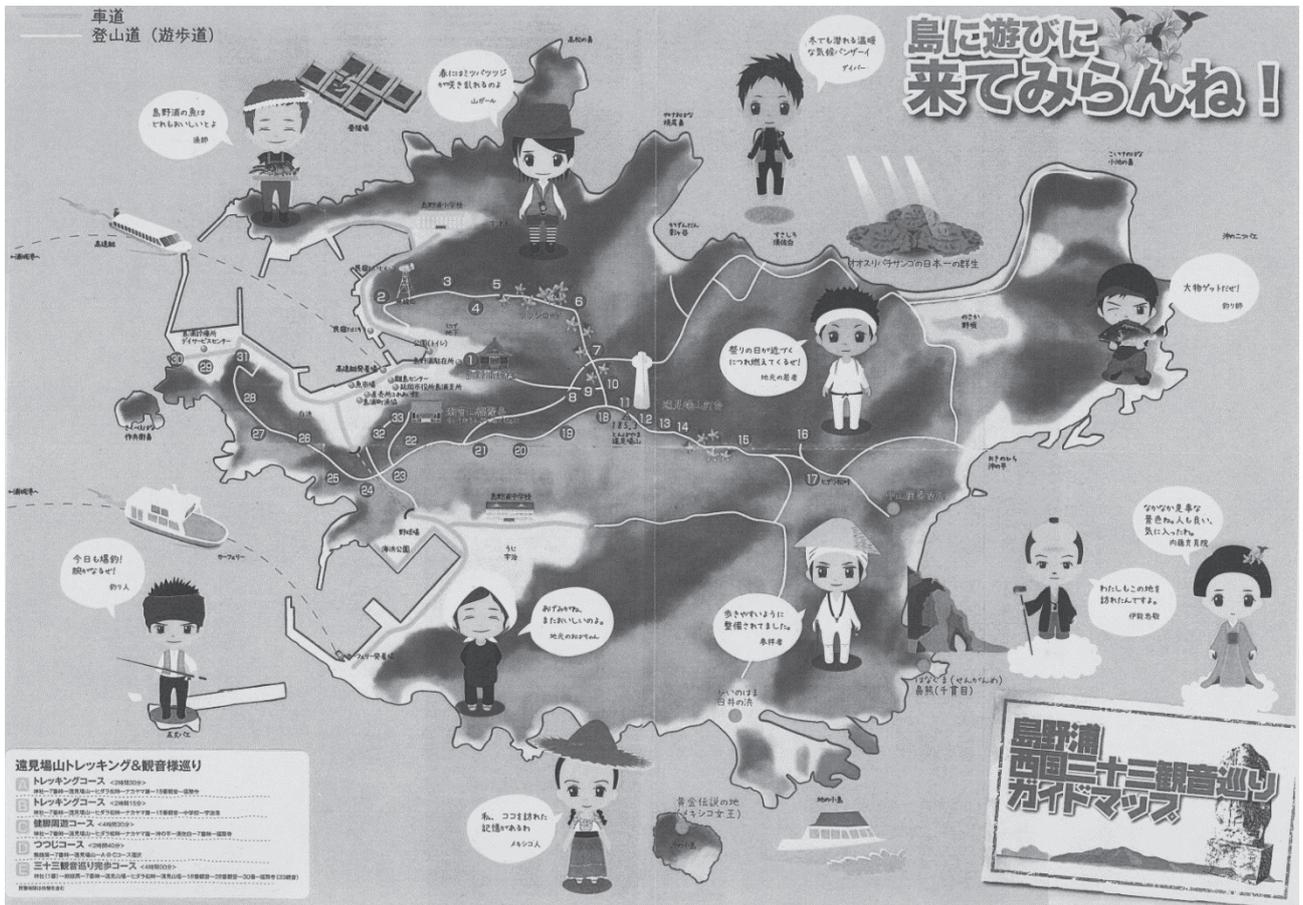


図59 島野浦観光案内ポスター  
島野浦 HP, <http://www.lead2001.co.jp/ritou/index.html>.



図62 秋祭り



図60 島のことなら何でもわかる人財による  
島案内



図63 ツツジ・トレッキング



図61 基幹産業まき網操業風景



図64 伝統料理 たたっこ、あげみ  
タイ茶漬け、生たたっこ

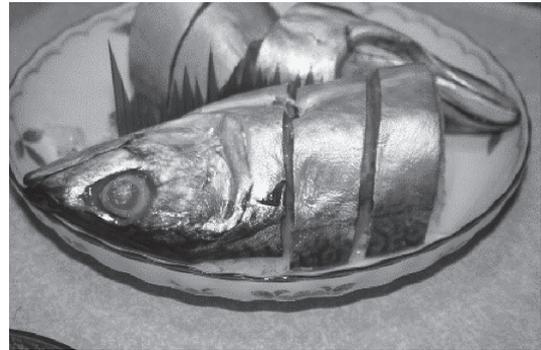


図65 サバの魚ずし

## 五 終わりに

以上、「宮崎 酒と魚の文化地理 日本における飲食文化の地域比較」と題して話を進めてきた。話は、日本における魚介類食をめぐる状況から始まって、飲酒嗜好にみる日本の地域性へと展開してきた。和食の最も重要な構成要素である酒と魚であるが、現在では、いわゆる「酒離れ」、「魚離れ」という現実のもと、厳しい局面にあることがわかった。話はさらに、これらの貴重な文化資産を使った地域振興策の一例としての「ドリンク&イート・ツーリズム」、具

体例として、県南、日南の旅と、県北、島野浦島の旅を紹介した。とにかく、宮崎県には、美しい景色、美味しい食べ物、楽しい祭りなどのイベント等々、県内外の人が楽しむことができる要素がいっぱい詰まっている。よく、「何もない田舎」などと卑下した言葉で語られがちなローカルな地域であるが、どのような地域にも、そこで長年人が暮らし、生きながらえてきた歴史と生きる術としての貴重な地域資産である文化が根付いている。決して何もない土地というのはないのであって、宮崎県内各地のそういった地域資産を正確に認識・再確認し、それらを活用した地域振興策を生み出していくことが重要である。国も地域も財政的な苦境から、地域活性化に苦慮する中で、人財と頭をよく使って考えていくことで、地方に輝かしい未来へ繋がる道が開けることを期待しつつ筆を置くこととする。

### 注・文献

- 1 中村周作(2018)・・・『佐賀・酒と魚の文化地理 文化を核とする地域おこしへの提言』、海青社、9115頁。
- 2 前掲1。中村周作(2012)・・・『宮崎だれやみ論 酒と肴の文化地理【増補改訂版】』、鉾脈社。
- 3 中村周作(2022)・・・『伝統的魚介類食の維持・活用による地域社会の持続可能性を考える 宮崎県における魚介類食拠点事例として』、『農業と経済』8814、68180頁。
- 4 「日本の食生活全集 北海道」編集委員会編(1988)・・・『日本の食生活全集1 聞き書 北海道の食事』、農山漁村文化協会、356頁他47巻。
- 5 「日本の食生活全集 新潟」編集委員会編(1985)・・・『日本の食生活全集15 聞き書 新潟の食事』、農山漁村文化協会、197頁。
- 6 奈良県・・・『大和の行事食』、gyoujisyouku.pdf (pref.nara.jp)、59頁。
- 7 中村周作(2014)・・・『酒と肴の文化地理 大分の地域食をめぐる旅』、原書房、1591160頁。
- 8 ①「日本の食生活全集 宮崎」編集委員会編(1991)・・・『日本の食生活

全集 45 聞き書 宮崎の食事』、農山漁村文化協会、355頁。②宮崎県漁業協同組合連合会編（1994）…『みやざきの魚郷土料理集』、宮崎県漁業協同組合連合会、103頁。③飯田辰彦（2005）…『生きている日本のスローフード 宮崎県椎葉村、究極の郷土食』、鉦脈社、293頁他。

9 調査件数は、世帯数の2%とし、地域性を鑑みて微調整を行った。それぞれの数を市町村別に示すと、宮崎市190件、延岡市122件、都城市113件、日向市55件、日南市45件、西都市・小林市30件、串間市・高鍋町25件、えびの市21件、清武町20件、門川町・川南町・新富町・国富町・南郷町・三股町15件、高千穂町・美郷町・都農町・高原町10件、綾町・野尻町8件、日之影町・五ヶ瀬町・西米良村6件、椎葉村、木城町、北郷町5件、北川町・諸塚村4件の計853件であった。

10 前掲8①、262頁。

11 中村周作（2012）…『熊本 酒と肴の文化地理 文化を核とする地域おこしへの提言』 熊本出版文化協会、165-176頁。

12 焼酎のひとつである連続式蒸留焼酎製造は、今から100年ほど前に、愛媛県の企業で始まった。従来、国酒というと、清酒を指すことが多かったが、筆者は、焼酎もこれに加えて考えたい。

13 統計は、各年度の変動を平均化するために直近の10年間（2008～2017年）の平均値を算出、比較した。

14 連続式蒸留焼酎が、肴の味の邪魔をしないという話は、熊本県芦北町の酒屋で、凍らないからよいという話は、北海道国税局に対する聴き取りによる。

15 宮崎県商工観光労働部…「宮崎本格焼酎応援サイト Dareyami 酒蔵が見学できる焼酎工場」 <https://www.dareyami.jp/diary/miyazaki-sakagura-kengaku/>。

好きな場所で好きなことをして生きていく

株式会社 SOL creators

代表 坂口 潤成

# 目次

【第一部】自己紹介&会社紹介

【第二部】空の世界

「気球の世界」

「ドローンの世界」

「空の世界の魅力」

【第三部】これからの地方創生

## 【第一部】自己紹介&会社紹介

私は鹿児島県志布志市で生まれ、育ちました。中学校卒業後は都城工業高等専門学校電気工学科で五年間学びました。宮崎県という場所は私にとって第二の故郷となります。都城高専を卒業後、私は中部電力に入社し六年程お世話になりました。そして地元が大好きだったので中部電力を退職し、鹿児島島に帰り、サラリーマン経験を経て、現在は株式会社SOL creator（ソルクリエイターズ）代表取締役として活動しています。

私の会社の紹介をさせていただきます。株式会社SOL creatorsでは、八つの事業を展開しています。

- ①MOVIE 映像作品制作
- ②DRONE 空撮 ドローンによる写真・動画撮影
- ③BROADCAST web・SNS生配信、番組生中継
- ④BALLOON 気球
- ⑤SOUND 作曲、音楽制作
- ⑥ART 個展、インスタレーション
- ⑦PRODUCE 広告、商品企画、デザインホームページ制作
- ⑧EVENTS イベント企画、運営

弊社の誕生には他社とは少し違った経緯があります。それは、仲間たちと共に作った場所であるという点です。また、鹿児島県志布志市と密接な関係があります。弊社は地元志布志でSOL（ソル）という愛称で呼ばれています。二〇一六年四月、SOLは歴史の幕を開けました。特殊な始まりで、志布志市からの委託を受け、私たちはサラリーマンをしながら仲間たちと共にこのSOLという場所の運営を開始したのです。志布志市の商店街の中にSOLはありますが、元々は薬局という場所を改装してスタートしました。志布志市からの受託の内容は五つです。

### ◆SOL結成―協定書の内容

- ①市内外への情報発信
- ②多世代交流の場づくり
- ③近隣既存店舗・団体との連携
- ④今後の魅力ある商店街づくり
- ⑤次世代の育成

このように、志布志市を活性化する目的で私たちの挑戦は始まりました。

### ◆SOLの歩み

- ・二〇一六年七月二日 志布志市有明町運動グラウンド 熱気球イベント「ソラニトドク」開催（熱気球係留）
- ・二〇一六年七月二十三日 志布志市志布町出水中学校跡 熱気球イベント「ソラニトドク」開催（熱気球係留）
- ・二〇一六年七月三十日 Abema TV「SOLオープニング記念番組生配信」
- ・二〇一六年八月二十六日 SOLにて「こども食堂」開催
- ・二〇一六年九月十五日 Abema TV「恋活倶楽部生配信」
- ・二〇一六年九月二十二日 Abema TV「志布志の中心で愛を叫ぶ」生配信 志布志市民の皆様をゲストに十時間生配信
- ・二〇一六年十月二日 Abema TV
- 「これからの時代を生きる若者経営者たちへ」税理士による経営戦略講習会生配信
- 「ココロザシTV」スペシャルゲスト武田双雲氏生配信
- ・二〇一七年二月十二日 志布志商店街謎解きバラエティー開催
- ・二〇一七年十二月十七日 ダグリ岬遊園地MV撮影プロジェクト開催
- ・二〇一八年四月 志布志商店街シャッターアート開催
- ・二〇一八年八月二十五日 ダグリサマーフェス開催